

避難所混雑解消のための 「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」の概要

1 背景

今年9月に発生した「特別警報級」に発達する恐れがあった台風第10号では、これまでに経験したことがないような記録的な暴風・大雨・洪水のおそれがあると、気象庁が繰り返し発表し、多くの市民が事前避難を行うなど、本市においても最大限の警戒をもって対応したところです。

また、近年の気象災害の発生では暴風雨や洪水などによる水害の被害は非常に大きいものになっております。とくに、台風のように事前準備が可能な状況においては、避難所をはじめ、親戚や友人宅など、安全な場所に早めに避難することが重要になりますが、今回の台風第10号においては、市内全域で最大で6,250人が指定避難所へ避難し、コロナ禍での運営もあり早期に定員に達した避難所もありました。

コロナ禍における避難所運営においては、市民が混雑状況を随時確認できる環境を構築することで、円滑な避難や3密回避につながると考えています。

2 協定の目的

本市の指定避難所開設時に、市民が混雑状況をどこからでも随時確認できる環境を構築し、市民に対して必要な情報を提供する手段を充実させることを目的としています。

3 協定先 株式会社バカン 代表取締役 河野 剛進 東京都千代田区永田町二丁目17番3号

4 協定締結日 令和2年12月18日(金)

5 避難所の混雑状況を確認できる環境

- ①MAP型混雑検知システム「VACAN」の活用
- ②避難所混雑状況をリアルタイム表示
- ③エリアマップ、施設個別ページ、一覧ページでの閲覧が可能



6 運用方法

各避難所の配備職員等により、避難所の混雑状況を随時更新
(混雑状況の表示例：空いています・やや混雑・混雑・満)

7 費用 無償

8 運用開始予定 令和3年1月中旬

9 周知方法 市ホームページや広報紙等により周知啓発を図っていきます。

【問い合わせ】
危機管理部危機管理課
担当：成松
電話 21-1730